

青森紀行 -新造フェリー「はやぶさII」撮影行-

2023-9-23 池田良穂

暑かった夏もようやく収まりつつある 9 月末に青森にでかけました。編集も終わりに近づいている学会誌 Cruise & Ferry 36 号の新造客船紹介のページに必要な、去る 4 月に青函航路に登場した青函フェリーの「はやぶさII」の姿を撮影するためです。また、10 月 2 日から再開される青森～室蘭航路に転配される津軽海峡フェリーの「ブルーマーメイド」の最近の姿もカメラに納めたいと思っていました。さらに、何年も前のことですが、青森を訪れた時に晴天なのに強風による欠航が続き、3 日間も待ったのに乗船できなかった、むつ湾フェリーのベテランフェリー「かもしか」への初乗船も果たしたいと思っていました。

大阪から青森空港まで約 1 時間半のフライトで到着。青森は曇り空との機内アナウンスでしたが、到着した頃には青空が広がっていました。空港でレンタカーを借りて、まっすぐに青森のフェリーターミナルに。西側には津軽海峡フェリー(元の東日本フェリー)の埠頭があり、東側が青函フェリーのターミナルになっています。

港に到着すると「ブルールミナス」と「はやぶさ」の 2 隻が停泊していました。まず 10 時に津軽海峡フェリーの「ブルールミナス」が出港していき、11 時には「ブルーマーメイド」が入港してきました。この「ブルーマーメイド」は 10 月 2 日からは青森～室蘭航路に転配されます。青函航路では各船ともに 1 日 2 往復していますが、室蘭航路は航海時間が片道 7 時間とはほぼ倍増するので 1 日 1 往復の運航となります。そして同社の青森～函館便は 1 日 8 往復から、6 往復に減便されます。

さて 11 時半には青函フェリーの「はやぶさ」が出港していき、入れ違いに新造フェリー「はやぶさII」が入港してきて、港口で 2 隻がファインダーの中に納まりました。以前は船首付けだったので、埠頭が新しくなって船尾付けになり、港内で回頭する姿をカメラに納めることができました。

この後、津軽半島の東岸を北上して、むつ湾フェリーのターミナルのある蟹田に向いました。40 分ほどのドライブで到着すると、港には「かもしか」が停泊していました。対岸の、マサカリ形の下北半島の脇野沢まで 1 時間の航海ですが、乗船するか、乗船せずに出港時の姿を撮影するかに迷いました。車を積んで海峡を渡って、脇野沢で下船して出港する「フェリーかもしか」の姿を撮影した後で、下北半島を陸路で青森まで 3 時間半のドライブになります。迷った末、車ごと渡ることにして乗船しました。海峡は場所によって風が異なり、白波がたっている場所もあれば、静穏な場所もあり、変化がありました。青空が広がって、快適な船旅を楽しむことができました。ただ、船内には売店も飲み物の自動販売機もありませんでした。この航海時には、大型の観光バスが 1 台と、普通車が 5 台乗っており、同航路が下北半島の仏が浦、大間、恐山などへの観光航路としても利用されていることを知りました。

海峡の中央付近で、青森に向う青函フェリーの「3 号はやぶさ」と交差しました。たまにイルカも見られるとのことでしたが、残念ながら遭遇せずでした。

脇野沢で下船して、港口に移動して「かもしか」の出港を待ちました。港の中には、今は廃航路となったシイラインの青森航路の高速旅客船「ポーラスター」が停泊しており、また脇野沢発着の仏ヶ浦観光船「夢の平成号」の姿を見ることもでき、乗船してきてよかったと思いました。撮影後、川内、大湊、むつ市、横浜町、野辺地を廻って青森のホテルに向かいましたが、道路の渋滞などもあり、到着したのは20時でした。翌日は予備日でしたが、天気が悪化して一時は土砂降りになりました。



青森港のフェリーターミナルに停泊する「ブルールミナス」(左)と「はやぶさ」です。



朝 10 時の「ブルールミナス」の出港です。



11 時 20 分着の「ブルーマーメイド」が入港してきました。港内で回頭するので 11 時には港外に姿が見えました。



回頭中の「ブルーマーメイド」です。



11時35分に出港した「はやぶさ」(右)と、入港する「はやぶさⅡ」が、ファインダーの中に納まりました。



港内で回頭中の「はやぶさⅡ」です。○の中に七のファンネルマークは、栗林商船のマークです。

船舶の案内

はやぶさⅡ (2023年4月就航 2999トン) **新造船**



旅客定員300名
函館発 6便 14便 / 青森発 1便 9便

【設備】

- 多目的トイレ(車いす対応)
- バリアフリーエレベーター
- 自動販売機
(飲料・カップ麺・お菓子・パン)
- シャワールーム(男・女)
- 客室(リクライニング椅子・
カーペット席・女性専用ルーム・
ベッド・ステートルーム・
バリアフリー専用席・
デッキベンチ・ロビー)
- 喫煙室



中央のリクライニングシートでTV鑑賞、窓際のテーブル席ではオーシャンビューをお楽しみください。



カウンター席では軽食やPC作業、多目的にご利用できます。



はやぶさⅡ ステートルーム

【定員4名和洋室×2】
【定員4名洋室×1】
【定員2名洋室×1】

●【設備】洗面台・テレビ・ソファ(和洋室は座椅子対応)テーブル・ベッド
完全個室でゆったり旅を楽しむ。



ルームチャージ制なので、人数にかかわらずご利用できます。
1名でも複数名でも料金が変わらないお得な料金設定です。

※船内画像はイメージとなります。

青函フェリー de **無料 Wi-Fi**

青函フェリー船内では、お客様がご持参の無線LAN内蔵パソコン・スマートフォン・タブレット端末を無料でWi-Fiに接続させることができます。
※接続方法につきましては船内で掲示しております「Wi-Fiサービスご利用手順」をご覧ください。

むつ湾フェリー「かもしか」



■船名 かもしか
総トン数 511トン
総乗客 137名(シフト)
乗客定員 240名
乗客付設 乗務員20名
積込能力 24トン



バリアフリー設備
座席背席電動リフト
乗客専用トイレ
船内専用車いす



No. 018878 **5m未満**

蟹田 ←→ 脇野沢

車両片道乗船証 **11,100円**

(運転者1名分の2等旅客運賃を含みます)

むつ湾フェリー
5.9.22
3便

むつ湾フェリー株式会社

ちょっと高いですが、需要の少なさを考えるとしかたがないように思いました。



津軽半島の東岸にある蟹田港で停泊する「かもしか」です。



「かもしか」の船内の一般席です。船首部にあり、展望の良い部屋でした。船尾側に特別室があり、使用料は 500 円でしたが、利用者はいませんでした。



途中で青函航路の「3号はやぶさ」と交差しました。



脇野沢港の近くにある鯛島です。



港内に係船されていた「ノーススター」です。かつては青森とを結ぶ航路に就航していました。



脇野沢港内に繋がれていた仏ヶ浦航路の定期船「夢の平成号」です。むつ市の運航です。



脇野沢港を出港する「かもしか」を見送りました。3 台の観光バスを積載していました。



2 日目の朝、青森港で保存船「八甲田丸」を撮影しました。



青森港のクルーズターミナルを遠望しました。この後、天気は悪化して、午後には豪雨に見舞われました。